

平成28年度 第1回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

○日 時 平成28年6月13日（月）午後7時～

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室（本館2F）

○テーマ 平成28年度学校経営計画について

○出席者（敬称略、委員は50音順）

会長 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校校長）

委員 上田 裕彦（吹田市立第二中学校校長）

清川 香織（本校後援会会長）

西條 裕之（本校PTA会長）

辻 良夫（藤が丘上自治会会長）

校長 浅田 明子

○事務局

手島 肇（教頭）、植木 邦博（事務長）、大西 英之（首席）、磯原 健志（首席）

■委員から出された主な意見等

【平成28年度学校経営計画について】

- 学区が撤廃されて、遠いところから通っている生徒もいる。以前よりも遅刻指導が難しくなっているのではと思う。最高でどの程度遠いところから通っているのか。そうした生徒への遅刻指導は大変ではないか。
- 自転車に保険をかけなければならなくなるが、90%を超える生徒が自転車通学をしているとのことだが、その対応はどうなっているか。
- 子どもが「体育祭は授業だから携帯電話の使用は禁止」と言われたと言っていたが、体育祭に参加した際、携帯電話を使っている生徒がたくさんいた。携帯電話を使うのは構わないが管理は自己責任でとか、携帯電話は使用しないととか、取り扱いを統一して欲しい。
- 昨年度、自転車の交通マナーの指導で、体験型の講習が大変良かったという話をされていた。この学校経営計画を見る限り、体験型の講習が入っていないが、それはどうしてか。
- 実力テストの学力判定ゾーンを引き上げていくのは難しく、どの取り組みが唯一効果的といったことではない。いろいろな取り組みが載っているが、この中では生徒の自学自習をメインに据えているのか。
- 関関同立・産近甲龍レベルの合格者20人というのは進学クラスの生徒のみか。
- 心身ともに健康というのは大事。心身が原因でということではないが、不登校が吹田市全体でも大きな課題の一つだと思う。不登校の現状と対策は。
- 学校HPは昔のデザインのままなので、どこに何があるのかわからず非常に見にくい。また、スマホへの対応も必要。

- 基本的に吹高生は本当にいい生徒が多くてうれしく思う。今日も、校門を入ってくるなり、挨拶を気持ちよくして頂いた。いい生徒が揃っていると思う。
- 卒業した生徒が使っていた自転車がたくさん置き去りされている。お金のかからない方法もあるので、整理して行ってほしい。